

Hello! FUJISEI

No. 166

介護や医療のリスクが高まる老後

増え続ける単独世帯 どうやって暮らす？

「長寿」という言葉とは裏腹に、加齢と共にリスクが高まる医療・介護などの問題にどう対処するのか、長くなった老後の生活には多くの課題が待ち受けています。頼ることができる家族はいるのか、その生活状況によっても異なります。

厚生労働省の「平成24年 国民生活基礎調査の概況」によると、平成24年6月7日現在における我が国の世帯総数（福島県を除く）は4817万世帯でした。

世帯構造別にみると、「夫婦と未婚の子のみの世帯」が1466万8千世帯

（全世帯の30.5%）で最も多く、次いで「単独世帯」が1216万世帯（同25.2%）、「夫婦のみの世帯」が1097万7千世帯（同22.8%）となっています。

世帯類型別にみると、「高齢者世帯」（65歳以上の者のみで構成するか、これに18歳未満の未婚の者が加わった世帯）は1024万1千世帯（全世帯の21.3%）でした。

また、65歳以上の者のいる世帯は2093万世帯（全世帯の43.4%）となっています。

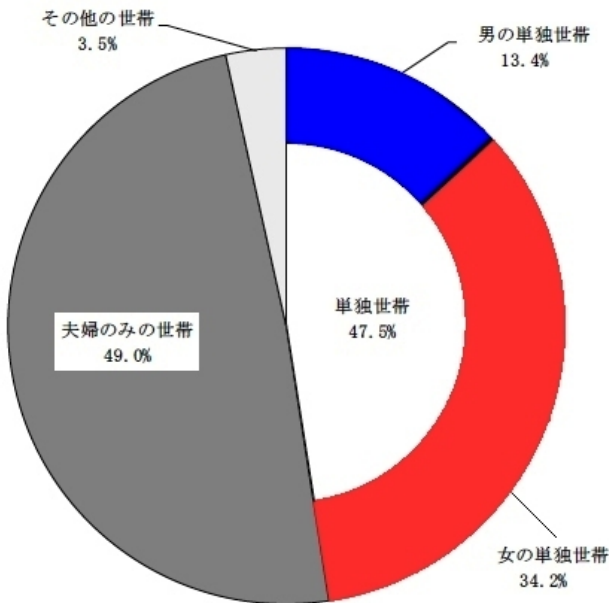
これを世帯構造別にみると、「夫婦のみの世帯」が633万2千世帯（65

歳以上の者のいる世帯の30.3%）で最も多く、次いで「単独世帯」が486万8千世帯（同24.2%）、「親と未婚の子のみの世帯」が411万世帯（同19.6%）となっています。

65歳以上の者のいる世帯のうち高齢者世帯を世帯構造別にみると、「夫婦のみの世帯」の者が501万7千世帯（高齢者世帯の49.0%）、「単独世帯」が486万8千世帯（同47.5%）でした。

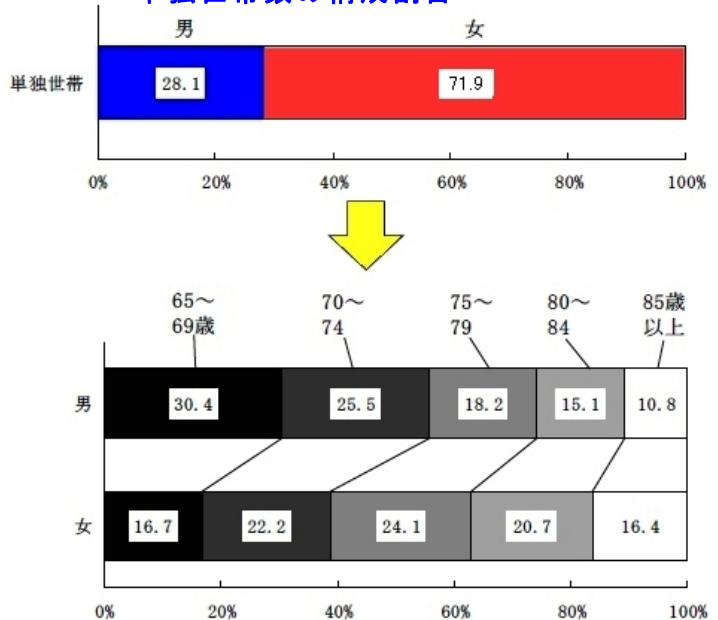
「単独世帯」について、性・年齢階級別にみると、男性は「65～69歳」が30.4%、女性は「75～79歳」が24.1%で最も多くなっています。

世帯構造別にみた高齢者世帯数の構成割合



厚生労働省「平成24年 国民生活基礎調査の概況」

性・年齢階級別にみた65歳以上の者の単独世帯数の構成割合



注：福島県を除いたものである。

（注）岩手県、宮城県及び福島県を除いたもの。